

症例カンファレンス：臨床一般部門

11月15日(土) 13:20~14:50 第3会場

この症例をどのように考えますか？

加藤 大生

秋田赤十字病院

【症例1】

70歳代・男性

【主訴／現病歴】 発熱、腹痛、悪寒。SpO₂低下を認め、当院救急搬送、即日入院となる(X day)

【既往歴】 パーキンソン病、前立腺肥大症、左聴神経腫瘍、水頭症、後縦靱帯骨化症

【現症】 BT：40.1℃、BP：73/57mmHg、SpO₂：97% (RA)、HR：94回／分、RR：24回／分

【主要な検査所見】 ※採血はX day、尿検査はX+2 dayの結果を記載

血算／臨床化学	測定値	基準値	単位	尿定性／尿沈渣	測定値
WBC	29	33-86	10 ³ /μL	色調	赤色
RBC	381	435-555	10 ⁴ /μL	pH	6.5
Hb	12.5	13.7-16.8	g/dL	尿蛋白	(2+)
PLT	7.8	15.8-34.8	10 ⁴ /μL	尿糖	(-)
Alb	3.5	4.1-5.1	g/dL	潜血	(3+)
CRE	1.16	0.65-1.07	mg/dL	亜硝酸	(+)
GGT	145	13-64	U/L	白血球反応	(3+)
AST	651	13-30	U/L	赤血球	≥100/HPF
ALT	548	10-42	U/L	白血球	≥100/HPF
ALP (IFCC)	198	38-113	U/L	尿細管上皮	<1/HPF
CRP	0.70	0.0-0.14	mg/dL	細菌	(3+)

【他の検査所見（尿沈渣画像含む）】 当日スライドにて提示する。

【ミニレクチャー】 当日は採血・尿検査結果の解説に加え、必要な追加検査や診断について臨床検査技師が「考えること」をテーマに講演する。尿検査は重要なスクリーニング検査の一つであり、血尿や膿尿から病態を把握する意義は極めて大きい。多角的な視野を持ちながら一緒に考察して欲しい。

(連絡先：018-829-5000)

【症例 2】

患者：60代女性

既往歴：躁うつ病で治療中

現病歴：明け方、家族の呼びかけに反応がないため救急要請

JCS300、対光反射両側消失、血圧84/47mmHg、脈拍105/分 体温31.1℃（膀胱温）

SPO₂ 98%、救急外来でカテーテル尿20mL採取後、12時間無尿

救急外来受診時検査所見：

血液検査所見（生化学）			
AST（U/L）	17	BUN（mg/dL）	13
ALT（U/L）	4	CRE（mg/dL）	1.34
ALP（U/L）	188	eGFR (mL/min/173m ²)	36.1
LDH（U/L）	279	Na（mmol/L）	149
γ-GTP（U/L）	19	K（mmol/L）	5.3
CK（U/L）	81	Cl（mmol/L）	106
T-Bil（mg/dL）	0.2	Ca（mg/dL）	9.7
TP（g/dL）	7.2	CRP（mg/dL）	0.25
Alb（g/dL）	4.4	PCT（ng/mL）	0.08
UA（mg/dL）	6.6		

血液検査所見（血算、動脈血血液ガス）			
WBC（ $\times 10^3/\mu\text{L}$ ）	20.6	pH	6.49
RBC（ $\times 10^6/\mu\text{L}$ ）	4.52	PCO ₂ （mmHg）	14.3
Hb（g/dL）	14.0	PO ₂ （mmHg）	158.0
PLT（ $\times 10^3/\mu\text{L}$ ）	357	実測HCO ₃ ⁻ （mmol/L）	1.0
		AG（mmol/L）	>30
		Lac（mmol/L）	>30

尿定性	
糖	（-）
蛋白	（1+）
ケトン	（-）
pH	5.0
比重	1.016
潜血	（±）
白血球	（-）
亜硝酸塩	（-）

尿沈渣	
赤血球（/HPF）	5-9（iso）
白血球（/HPF）	1-4
尿細管上皮細胞（/HPF）	1-4
硝子円柱	（1+）
その他	？？結晶

Q1 注目すべき患者情報や検査データは何ですか？

Q2 この後どのような処置、治療が行われることが予想されますか？

【症例3】

60代 男性

【主訴】

腰背部痛、排尿障害、間欠的血尿

【検査所見】

尿定性検査			血算			血液生化学検査		
SG	1.016		WBC	19650	/ μ L	TP	5.9	g/dL
pH	6		RBC	284	10^4 / μ L	Alb	2.9	g/dL
尿蛋白	±		MCV	96.1	fL	AST	18	U/L
尿糖	—		MCH	30.3	pg	ALT	23	U/L
ケトン体	—		MCHC	31.5	g/dL	LD	561	U/L
尿潜血	—		Hb	8.6	g/dL	ALP	122	U/L
ウロビリノゲン	±		Ht	27.3	%	γ -GT	184	U/L
ビリルビン	—		PLT	63.5	10^4 / μ L	ChE	189	U/L
亜硝酸塩	—		Reti	30.1	%	AMY	54	U/L
白血球	2+		Neu	91.2	%	Cre	1.12	mg/dL
尿沈渣検査			Lym	5.7	%	UA	5.0	mg/dL
赤血球	<1	/HPF	Eos	0.0	%	UN	45	mg/dL
白血球	10-19	/HPF	Bas	0.1	%	Na	139	m mol/L
扁平上皮細胞	<1	/HPF	Mon	3.0	%	K	3.9	m mol/L
尿細管上皮細胞	<1	/HPF				Cl	105	m mol/L
細胞質内封入体細胞	<1	/HPF				Mg	2.0	mg/dL
硝子円柱	1-9	/LPF				Ca	9.2	mg/dL
上皮円柱	<1	/LPF				IP	4.0	mg/dL
顆粒円柱	<1	/LPF				D-Bil	0.3	mg/dL
その他の細胞（※）	<1	/HPF						

※その他の細胞としてN/C比大、核小体明瞭な細胞を認めた。

【連絡先】

新潟大学医歯学総合病院

医療技術部臨床検査部門

一般検査室：025-227-2672